

令和2年5・6月号

(公財) 仙台ひと・まち交流財団



くまっち

# 宮城西市民センターだより



仙台市市民センター

〒989-3432 仙台市青葉区熊ヶ根字石積 47  
電話：393-2829 FAX：393-2491  
e-mail：miyanisi-siminc@hm-sendai.jp



宮城西市民センター

URL：<https://www.sendai-shimincenter.jp/aoba/miyaginishi/index.html>

ホームページ公開中です。「宮城西市民センター」で検索してください。上記のQRコードからも入れます。

## 受講生募集

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、やむを得ず日程の変更や中止になる場合があります。あらかじめご了承ください。



## 親子ふれあい教室 ～自然と遊ぼう編～



緑いっぱいの自然の中を親子でいっしょに探検してみましょう！

日時	内容	講師	集合・解散場所
7月 11日(土) 9:30～13:00	豆沢川をざぶざぶ歩こう！ 《小雨決行・荒天時中止》	みやぎ西探訪会 早坂 傳夫 氏	水道記念館 駐車場

- 対象：小学生以上親子 10組(先着順) ※詳細は受講される方にハガキでお知らせいたします。
- 費用：保険代1人につき24円 ※6月6日(土)開催予定の「水道記念館と青下ダムを散策しよう！」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。
- 申込：5月20日(水) 9:00～  
窓口または電話にて



## 女性教養講座

みんなで様々なことにチャレンジして仲間作りをしませんか！自分の時間を作り楽しみましょう！

日時	内容	講師	会場
7月 22日(水) 10:00～12:00	陶芸教室 「自分だけの器を作ろう！」	陶芸家 古山 少吉郎 氏	宮城西市民センター 会議室

- 対象：成人女性 20人(先着順) ※今年度の女性教養講座は、各回毎に募集・受付いたします。
- 費用：材料費 1,100円(当日集金) ※第1回 6月24日(水)開催予定は、新型コロナウイルス
- 持ち物：エプロン・手拭きタオル 感染拡大防止のため、中止となりました。
- 申込：5月26日(火) 9:00～  
窓口または電話にて

## お知らせ

令和2年5月3日(日)から5月5日(火)まで開催の予定だった「鯉のぼり×大倉ダム」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期となりました。

延期の時期は未定ですが、秋以降に開催できないか、調整しています。



※講座のお申し込みの際にお預かりした個人情報講座運営以外には使用いたしません。

# 冊子「作並・新川いまむかし」が出来ました！



平成 30 年度の「宮城西部地区今昔物語」から始まった、作並、新川地区の「昔の話を聞く会」でいただいた明治、大正、昭和の頃の地域の話をまとめた冊子が出来ました。作並・新川地区活性化連絡協議会との協働で編集作業を行ってきました。

地域の方から、当時の思い出話やこれらに向けて残しておきたい話等、エピソードを交えた楽しい読み物になりました。親から子へ、子から孫へと語り継がれることと、地域外の方にも作並、新川地区の魅力に触れていただきたいと思えます。



※冊子の販売は、5月1日（金）から宮城総合支所まちづくり推進課・宮城西市民センターで取り扱います。1冊 500円です。詳しくは、宮城西市民センターにお問い合わせください。



## 大沼探訪記

4月17日、冷たい風は少しあるものの、良く晴れ渡った青空の下、作並の山中にある大沼まで出かけてみた。宮城西市民センターが毎年開催する「自然体験教室」で訪れる場所がマンネリ傾向にあるため、新たなフィールドを探ることが目的。

国道48号の作並小学校（昨年度で閉校）手前の駐車帯“もしもしピット”に車を駐めて、まずは鎌倉山方面に向かって歩き出した。JR仙山線の遮断機のない踏切を注意して渡り、明るく開けた線路沿いに歩いていくと、やがて仙山線とお別れして、今度は沢沿いに進む道となる。すると間もなく山肌一面に咲くカタクリが姿を現す。この時期一押し風景だ。途中の林道の水たまりには、クロサンショウウオのものと思われる卵のうと、孵化したばかりの幼生が無数に居て、気持ち悪いくらいであった。

鎌倉山登山口を右手に見て進むと、やがて道は、大雨で深く掘られた悪路へと変わった。しかし、歩くのに危険な道ではない。むしろ、こんな道でもオフロードバイクやバギー車のタイヤ痕が沢山残っていて、もし講座で訪れるとしたら、そちらの方に注意を払わなければならないと思いながら歩を進めた。

途中途中に、カタクリ、ニリンソウ、キクザキイチゲやアズマイチゲの群落が現れるので、飽きのこないコースであるし、何より、登山のようなハード

な登りがないことが、このコースの一番の魅力だろう。スタートから90分ほど歩き、標高460mのピークを越えると突然、目の前に満々と水をたたえた美しい大沼が現れた。湖面にはカモ類が何羽か羽を休めていて、向かいにある檜倉山を映し出していた。湖畔まで下って石の上に腰を下ろし、暫くボーッと景色を眺めていたが、何時間でもそこに居られるような気がした。

帰路は、別の道を辿って戻ってきたが、ゆっくり歩いて約3時間の行程。途中、植物観察をしたり、昼食を摂ったりしても4～5時間の行程なので、山歩き初心者でも参加が可能だ。来年度の「自然体験教室」に組み入れることになりそうだ。（館長 記）



## 5・6月の休館日のお知らせ

5月

7日（木）・11日（月）・18日（月）・25日（月）

6月

1日（月）・8日（月）・15日（月）・22日（月）・29日（月）